

## 「保育における多様性保障」を思考する

松山ゼミでは、「保育における多様性保障」についてディスカッションやフィールドワークを通して理解を深めています。3年生ゼミでは、「多文化保育」と「インクルーシブ保育」を主なテーマとしてゼミ活動を行なっています。

緊急事態宣言が解除されたことで、ようやく10月からは保育園での活動をスタートさせました。各園において、インクルーシブ保育の実践に向けた現状と課題について保育観察や保育士の皆さんとの保育検討会を通して理解を深めています。

こうした活動を通して、文化的・社会的背景や障がいのあるなしを含めた多様性を前提として、子ども一人ひとりの「タヨウナ・アリヨウ」を尊重し、またそれらを生かしながら、誰もが排除されない環境で、安心して育ち合う保育をどのように創り出していくのかを思考しています。「保育における多様性の保障」は、容易に成し遂げることはできません。しかし、現実と理想の間で何ができるかを日々思考し、チャレンジしていくことが大切です。

日福大らしい「ふくしを通した豊かな視点」を土台に、すべての子どもの「困り感」に寄り添い、子どもをめぐる社会的な課題を自分自身の保育に落とし込むことができる保育者になることを目指しています。

## 保育園での活動



外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもの様子を観察しながら、保育全体を学んでいきます。保育室ごとに保育士の皆さんと保育検討会を行い、最後に全体に向けて発表を行いました。今回のフィールドワークでの気づきや反省を次回のフィールドワークにつなげていきます！



保育検討会



全体発表